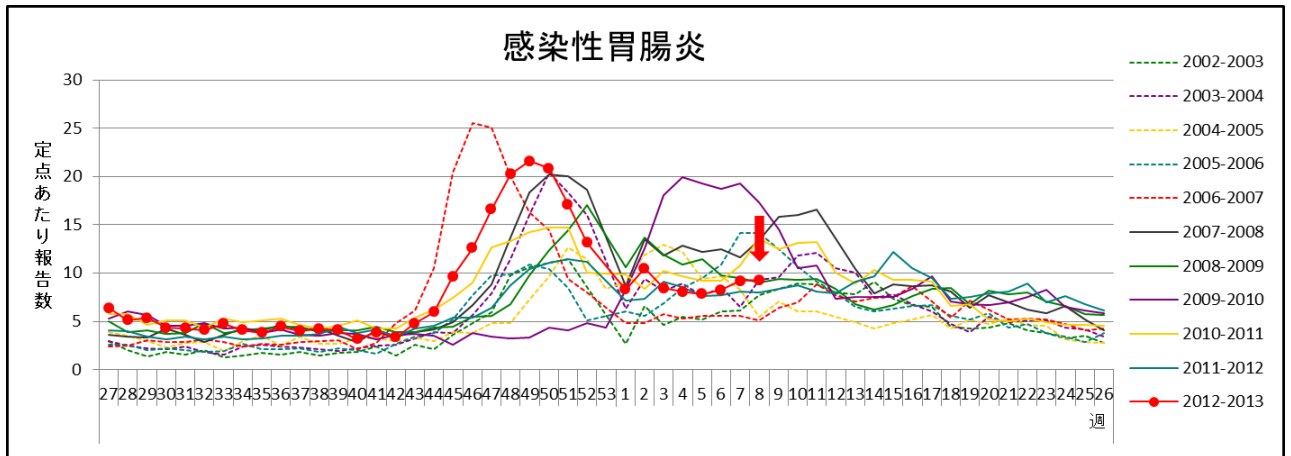


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 8 週 (2 月 18 日 ~ 2 月 24 日)

○岡山県内の患者報告数は 500 名 (定点あたり 9.26 人) であり、前週とほぼ同数でした。(54 定点医療機関報告)
【第 9 週 速報】

○感染性胃腸炎による臨時休業が、津山市の小学校 1 校 (2 月 25 日)、倉敷市の小学校 1 校 (2 月 27 日) でありました。

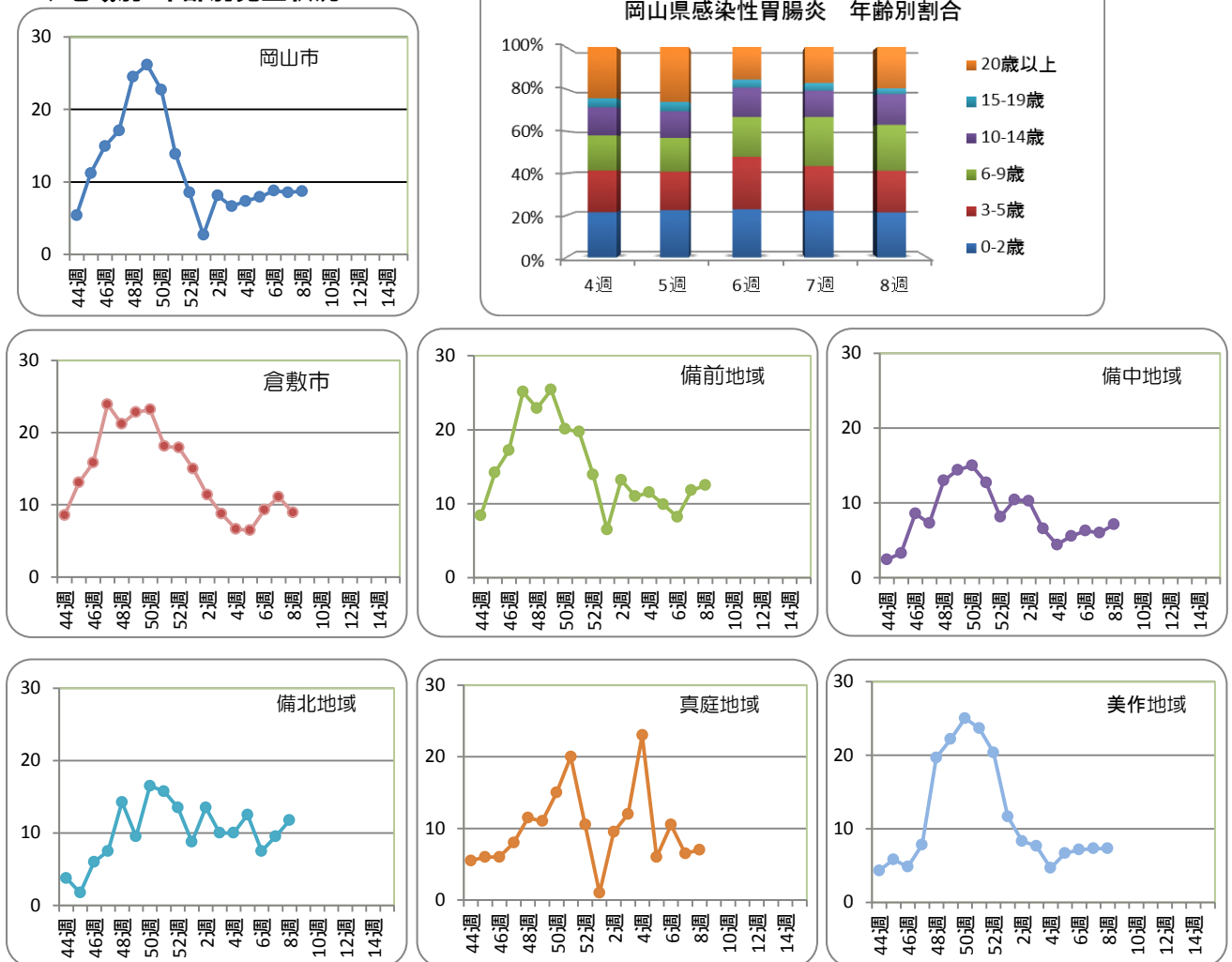


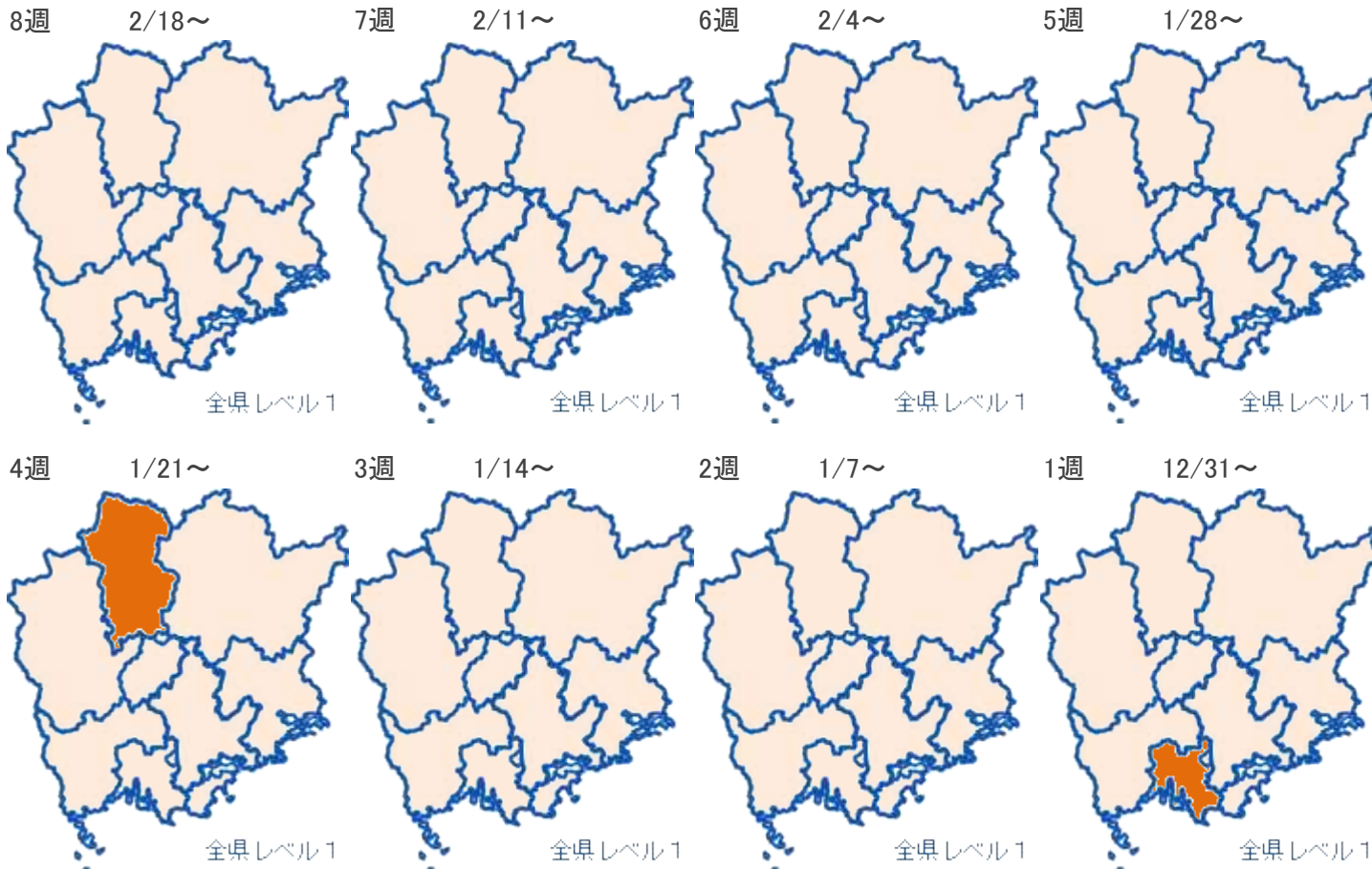
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 9.20 → 9.26 人)。地域別では、備前地域 (11.80 人)、備北地域 (11.75 人) で患者増加がみられます。年齢別では、5 歳以下の幼児が全体の 41% を占めています。大きな流行は過ぎたものの、第 9 週には感染性胃腸炎による臨時休業が小学校 2 校から報告されるなど、依然として流行はつづいています。手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理などの感染予防と拡大防止に努めてください。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

また、これから春にかけて、0~2 歳の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎も増加してきます。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれていますので注意が必要です。

◆地域別・年齢別発生状況





感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。